

## 第1回藤沢市地域経営戦略100人委員会 議事概要

日時 2009年8月22日(土) 午後2時～5時  
場所 藤沢市消防本部南消防署講堂

### <開会>

### <市長挨拶>

市長挨拶

皆さんこんにちは。暑い中、また大切なお休みの中、お集まりいただきありがとうございます。

総合計画は市の憲法とも言われます。1999年に「ふじさわ総合計画2020」が策定され、当時私も策定に参画しましたが、それ以降、関東特殊製鋼、武田薬品、松下、後期高齢者医療制度など誰も予想できなかった変化が起きています。誰も思ってみななかったことです。1999年とは全く違う状況に置かれています。市長としては、山本前市長がつくっていただいた計画をそのまま使わせていただくのが一番簡単なのですが、ここで、本当の意味で市民の皆さんとともに総合計画を策定していきたいというのが私の願いになったのであります。

今までは総合計画審議会に市民代表や団体の方が参加されていましたが、そのたたき台をつくったのは、コンサルティングという専門家でありました。藤沢市の基本構想は、「湘南の海にひらかれた生涯都市ふじさわ」であります。しかし、他の都市も同じようなものです。これで本当の「藤沢らしさ」がでるのでしょうか、私は疑問に思います。そこで考えたのがこの100人委員会であります。今日は、センター長も参加させていただいております。他にもわいわい・がやがや・わくわく会議という若手職員の会を設け、100周年を迎えるとき、幹部職員になったときの藤沢について考えてもらうということをしています。

藤沢の方向性について、どんどん意見を出していただいて、よい総合計画をつくっていただきたいと考えています。慶應義塾大学の玉村先生をはじめ、いろいろな方にお手伝いをいただいております。

資料にも使っております「かわせみ君」は今ひとりですが、70周年には彼女ができて、80周年には結婚して、そうして家族ができていく、藤沢市もそんな風にスクスクと成長・発展していったらと思います。

是非皆さんのお力をいただきたいと思います。どうぞよろしく願います。

### <まちづくりコーディネーター紹介>

慶應義塾大学総合政策学部准教授 玉村 雅敏さん  
慶應義塾大学環境情報学部准教授 植原 啓介さん  
慶應義塾大学総合政策学部専任講師 東海林 祐子さん

### <スタッフ紹介>

樋栄ひかるさん 田中美乃里さん

<新総合計画策定の概要>

長瀬経営企画部長 お時間をお借りして、新総合計画の考え方などについてご説明します。先ほど市長の挨拶にもありましたが、制度・仕組みを改めまして、市民の皆さんがつくる、まったく新しい計画づくりになります。はじめての取組みでもありますので、失敗や戸惑いもあろうかと思いますが、一緒に策定をするというプロセスを共有して、1年半の策定を終えたとき、市民と行政の財産になればと思います。

社会状況の変化も明確になっていますが、例えば人口が初めて減少に転じたり、高齢化は、3人に1人にまで進んだりということもあります。工場が一夜明けると撤退ということもあります。暗い話も多くなりますが、市民の皆さんには、手を取り合って、新しい市民経営やまちづくりに取り組んでいただいて、20年後の夢とロマンを分かち合いたいと考えています。策定の期間は、時代の変化にいち早く対応できるよう1年半で策定したいと考えています。

基本構想は20年先、基本計画は12年間で3年ごとに見直し、実施計画については見直しを毎年行います。

100人委員会の委員の皆さんは、地域経営会議の委員の方、各分野で活動されている方がいらっしゃいます。特に基本計画に位置づけられている「地域まちづくり計画」と実施計画の「地域まちづくり実施計画」を実施する地域経営会議との連携が100人委員会では重要になると考えます。

皆さんのご議論が一定のまとまりを見せた時点で総合計画審議会への意見提案を行い、基本構想の策定にもご参加いただきたいと考えています。また、これも新しい取組みではありますが、一般の市民の方にも市民1000人討論という会議に参加いただき、より多くの市民の方に参加いただきたいと考えております。長い期間になりますが、よろしく申し上げます。

100人委員会の構成について、再度ご説明いたします。地域経営会議から66名、一般の市民公募の委員さんにつきましては、素晴らしいご意見、レポートをいただきましたので、思い切って72名の全員参加、10月からは地域経営会議の公募委員も加わり、また、今日参加させていただいている、センター長、若手職員等を含めますとかなりの人数になります。

どうか肩肘を張らずに楽しく、茶のみ話のようなものも取り入れてまいりますので、よろしく申し上げます。

この委員会での議論は、藤沢らしさ、課題抽出などですが、それが、いつの間にか、まちづくりの目標になったり、指標になったり、手品のように計画ができていくというようになればと思っています。今回、藤沢市は答えを用意しておりません。皆さんと一緒に考えてまいりたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

<意見交換等>

玉村准教授

皆さんこんにちは。慶応大学の玉村と言います。これから残りの時間とその先1年半、ご一緒にいろいろな取組みをしていきます。

皆さんは、藤沢についての実感をお持ちだと思いますが、その実感をお互いに話し合いながら、もっともっと引き出していきたいと考え

ています。そうして未来の藤沢を描いていくということになります。

将来振り返って、「この8月22日がスタートだったんだな。」と思い出せたらと考えています。

今日進めたいことをお話します。この委員会が何を、どこを目指しているのかというところを共有したいのが目的です。そのためにアイスブレイクやテーマの洗い出しなどを行います。

今日はいろいろな方にお集まりいただいでいて、そのことは非常に重要なことです。市役所の職員もいますが、この委員会のルールとしては、藤沢市で働いている人であって、市役所を代表している人ではなく、個人としてどう思うかということを出してもらいたいと思います。

この委員会は、総合計画をつくるために、未来を考えていただく、魂をいれていただく、という役割を持っています。藤沢市はこの計画をコンサルティングをお願いしないで、市民の皆さんに考えていただくという画期的なことを始めています。皆さんを通して、より多くの声を寄せていただくということも大切なことです。

名札にある「TEAM238」というのは、「ふじさわ」との語呂合わせで、今日参加いただいている皆さんの人数とかけています。市民1000人討論を2回行くと2,000人で、ふじさわが完成します。

100人を超えています。実は公募委員の方がこんなに応募されるということ自体がすごいことなんです。

委員会の進め方の細かいことは、随時お話しをしていきます。ですが、細かいことを十分に作りこみながら進めていますので、ご理解ください。

これから、まず進めていくことは、20年先の基本構想をつくるために将来像の柱になるものをあぶりだしていくという作業になります。その先、具体的な基本計画や地域ごとの課題の分析、その計画を評価するための作業に入っていくということになります。安心して臨んでいただければと思います。また、楽しんでいただければと思います。

この委員会では、集まった時に話し合っていたということと、話し合いで受け止めたことを、地域に戻って調べていただいたりということもお願いします。

そうした活動によって、皆さんの実感を寄せていただき、我々で整理をしていきたいと考えています。

それでは、会議を始めたいと思いますが、皆さんが楽しんでいただくためのルールをお話ししていきます。

樋栄スタッフ

会議のルールの前に、藤沢らしさのお話しを少しさせてください。

「らしさ」とは一体なんでしょう。皆さんは藤沢をつくっている一人ひとりですので、自分らしさというものを考えて見ましょう。

自分を形成しているものは、見えているものと見えていないものがあり、見えていない部分というもののほうがたくさんあると思います。

また、課題というと短所、欠点など悪く思われがちですが、違いを認識することでカバーできることもあります。

藤沢らしさも同じだと思います。見えているところ、見えていないところ、何故そう思うのかということ掘り下げてみる活動をしていきたいと思っています。また、その中で自分らしさというものも探していただきたいと思っています。

自分らしさに戻ります。名前というものも「呼ばれたい」という自分らしさの表現のひとつ、自己イメージ、ペルソナですので、自分の呼ばれたい名前を皆さんで考えてください。そして、気持ちよく呼ばれることで好意をもてる、明るく楽しく元気よくなれる名前を名札に書いておいてください。そして、その自分らしさが藤沢らしさにつながるものが最も素晴らしいことだと思います。

もうひとつ、自分らしさを形成するものとして「モットー」があります。モットーは使命感であり、皆さんは、今日、藤沢を素敵にまちにすることの使命感をお持ちになって、ここにいらっしゃると思います。そんな風に、ご自身がお持ちのものを簡単にまとめて書いていただければと思います。そしてこれらのひとりひとりのものを皆さんで共有していきましょう。

それでは、今日の会議のルールをご説明します。会議のルールは毎回変えていきます。

1つ目は「Be Present!」です。英語で申し訳ありませんが、この言葉には2つの意味があります。1点目は、贈り物、ギフトです。今日は是非、お互いが出会えてよかった、贈り物の状態になっていただければと思います。2点目ですが、Presentには「現在」という意味もあります。過去ではなく、未来でもなく、今はこの会議に心を置いてください。

2つ目は、「No む!」です。「わあ～難しい」「無理」「無駄」ではなく、そう思っても「楽しい!」に変換してください。

3つ目は、「Yes and!」です。「え～」ではなくて「ほ～」、否定するのではなくて、受け入れて変えることです。これができれば世界が平和になると考えています。

4つ目は、「Keep Smiling」です。長時間会議に集中すれば当然疲れてきますが、楽しんでいただければと思います。この1年半で、今までにないような経験をした、かけがえのない友達ができたといったプロセスを、やっていること自体を大切にいただければと思います。

#### <ワークショップ>

玉村准教授

ご準備はよろしいですか。今日は本当に大切な一日です。今日出会った皆さんがこれからいろいろ話したことが未来になっていく、またいろいろな人に伝えていくことによって広がっていくということになります。だからこそ皆さんのつながり、一緒にやっつけようと思えることが40万人の共感になっていくのです。先ほどは申し上げませんでしたが、地域の課題調査やアンケートなど、これから皆さんで調べて、話し合い、実感するということをいろいろとやっていただきます。皆さんには委嘱状というものが渡されていますが、これは市長から皆さんに藤沢の将来について考えてくださいということが託されたものです。ただし、個人個人の主張を求めるものではありません。皆さんと一緒に楽しく活動することで、それが周りの人を巻き込んでいってほしいと思います。

今からの時間、お互いに知り合う時間を作りたいと思います。その後、皆さんで考える仕組みである「ワールド・カフェ」という作業をしていただきます。

よろしく申し上げます。

樋栄スタッフ それでは、「やるぞ!」という気持ちで歩き回って、多くの人と自己紹介をしてください。

[委員等の自己紹介 (約 10 分間)]

お知り合いもできたと思いますので「ワールド・カフェ」を始めたいと思います。4人1組でできるだけ、元々のお知り合いで固まらないように集まってください。お互いに協力してカフェを作ります。テーブルを用意してお座りください。

[グループ結成後、テーブルに模造紙、カラーペン、飲み物、お菓子を準備]

玉村准教授 先ほど、チームの力をあげるために、いろいろお話しをしました。早口でお話しをしてしまって申し訳ありませんでしたが、ここからは、カフェの時間になりますので、ゆっくりとお話しをしたい、また皆さんもゆったりとお話しいただきたいと思います。

フランスでは、「歴史や文化はカフェで作られる。」という言葉もあります。ゆったりとリラックスした気持ちの中で、地域の良さやらしさを語るというのは、非常に重要なことですが、これを仕組みとして取り入れているのが「ワールド・カフェ」という手法です。ペンを取って、わいわいと話しをしながら、模造紙を埋めていくという簡単なもので、皆さんが気をつけていただくことは、わいわい、がやがやと楽しくお話しをいただくということだけです。

樋栄スタッフ もう少し説明をします。各グループには1人ホストを決めていただいて、話を進めていただきます。ホストは話しを先導しなくても良いです。話を聞いて、引き出してあげるというのもホストの役割です。その方は、動かずにいて、いらした方に、「こんな話があったよ」といった説明をしてください。ホスト以外の方は、ほかのカフェも訪れて、いろいろな議論やアイデアを覗いていただくことができます。最初の議論は10分間とします。テーマは「TEAM238を成功させるには?」でスタートします。その後で、「藤沢らしさって何?」を行います。「ここのテーブルではこんなことを目指すぞ!」「こうなったら成功したことになるのではないか。」「藤沢らしさってそもそもなんだろう?」といったいろいろなお話しをしてください。

いろいろなアイデアや考え方があってと思います。「これはどうなの?」と思ったことをどんどんメモして行ってください。

今日お話いただいたことは、皆さんに後でお返ししていきたいと思えます。大切なのは今日やったことをみんなで共有して、やり方を考えながら、より良い方向に進めていくということです。

それでは、10分間のワールド・カフェをスタートしてください。

[各テーブルで10分間のワールド・カフェ「TEAM238を成功させるには」を行う。]

お話しは尽きないと思いますが、ホストの方に後はお願いをして、ホスト以外の方はテーブルを移動してください。皆さんバラバラのテーブ

ルに入ってください。

ホストの方は、新しいメンバの方に、先ほどのメンバの方の構成やお話しの内容を説明していただいて、自己紹介をお願いします。

この話し合いは8分間とします。

[各テーブルで8分間のワールド・カフェ「TEAM238を成功させるには」を行う。]

また、席替えのお時間になりました。お互いに「ありがとうございました。」とご挨拶を交わしていただいて、新しいテーブルに移ってください。お席に余裕のあるところは、手を上げて呼んであげてください。

ここで、テーマを「藤沢らしさ」に変えたいと思います。

ホストの方は、「TEAM238を成功させるには」の1回目と2回目の話題の内容と自己紹介を進めていただいてから、新しいテーマに入ってください。

[各テーブルで10分間のワールド・カフェ「藤沢らしさとは」を行う。]

ありがとうございます。お疲れさまです。このメンバーではここで終了として、最後の席替えを行ってください。

では、最後のセッションになります。ホストの方は、まとめをしていただいてから、お話しをしてください。

いくつか、お話しをしていただいている中で、ホストの方は、その中からひとつ選んでいただいて、より深いお話しをしてください。

[各テーブルで7分間のワールド・カフェ「藤沢らしさとは」を行う。]

各テーブルもっとお話しをしたいところですが、お時間も少なくなりましたので、もっとお話しをしたいときは、電話番号を交換していただいて、最初のテーブルがどんな話題になっているか確認をしてみましょう。ホストの方は、最初にご一緒した方に声をかけてあげてください。

ホストの方は、最初にご一緒した皆さんに、「こんな話に発展したよ」という説明をしてあげてください。5分間ぐらいの間にお話しをしていただいて、また気がついたこと、書き忘れたことがあれば書き足してください。

[各テーブルで5分間、振返りを行う。]

まだ、お話しは尽きないと思いますが、もっとお話しをしたい方は、電話番号やメールアドレスの交換をしていただいて、つながりを深めていただきたいと思います。

今日始まったときとは感覚が変わったのではないかと思います。

次回は、模造紙の内容をご案内したいと思います。また、データにしていきたいと考えています。

今日皆さんに考えていただいたことは、この先、総合計画の基本構想の柱になっていくものです。そのためには、藤沢らしさを地区や活動分

野でお話しただいて、もっと声をお寄せいただきたいと思いますので、宿題として、是非地区でのお話し合いをしていただきたいと思います。それでは、拍手をして会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

<事務連絡>

今回は、9月20日(日)、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで行います。車でのご来場等については、別途ご案内いたします。駐車券については、手続きをお忘れないようにお願いします。また、名札は回収しますので、前のほうの職員にお渡しください。ありがとうございました。

<閉会>